

令和6年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年も着実に力をつけ、成果を得られているといえる。
- ・2、3学年ともに、「教えあい」「ペアワーク」などの活動が積極的な学びにつながり、各領域の高い達成率となって表われている。また、復習プリント等などの反復練習の実施が、成果に繋がっているといえる。

(2) 課題

- ・解答形式が記述である問題の正答率が、それ以外のものと比べて低いこと。
- ・計算スキルはあるが、それを活用して自分の頭で考える力がやや乏しいこと。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） △目標値を上回る ≡目標値と同等 ▼目標値を下回る

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 ≡ 主体的な態度 ≡		
第2学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 ≡ 主体的な態度 ≡	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第1学年時)	
第3学年	知識・技能 ≡ 思考・判断・表現 ≡ 主体的な態度 ≡	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第2学年時)	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的な態度 △ (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を越えており、定着していることが伺える。	定着していることが伺える。	定着していることが伺える。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を越えており、定着していることが伺える。	定着していることが伺える。	定着していることが伺える。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定着していることが伺える。	定着していることが伺える。	定着していることが伺える。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
復習プリントや、タブレットドリルを活用したくり返し練習を行い、基礎・基本の定着を図る。	復習プリントや、タブレットドリルを活用したくり返し練習を行い、基礎・基本の定着を図る。	計画的に学習に取り組めるように、課題や期限を明確にして指導していく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
板書を写す必要がないよう授業用プリントを用意し、演習の時間と演習量を確保することで基礎・基本の定着を図る。	答えに至るまでのプロセスを重要視して、考え方の言語化や生徒同士の対話・教え合い等の時間を確保することで考えを深める。	生徒が自ら取り組みたくなるような問題の工夫・導入の工夫をしていく。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元テストや小テストを定期的に行い、問題練習を増やしていく。また、基礎、基本の定着を図るために、演習プリントを多数準備し、自らの力で問題が解ける力を伸長させる。	思考の道筋をしっかりと表現できるよう、解答の記述についての指導に力を入れていく。	授業中に「教え合い」や「ペアワーク」を取り入れ、自ら授業に参加する雰囲気作りをする。タブレットドリルを効果的に活用する。